

# 『山形県の災害』 について

山形県県土整備部砂防・災害対策課 災害復旧主査 **すがの 菅野** **たかゆき 隆之**

## 1. はじめに

### (1) 山形県の概要

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、東京から概ね北に300km、山形新幹線で約3時間の距離にあります。

県の東部に奥羽山脈が南北に走り、それと平行して県の中央に出羽丘陵、西部には朝日山地、南部に飯豊山地が連なっています。これらの山系に源を發した最上川は多くの支流を合わせて本流を形成しながら県中央部を北へ流れ、内陸部に米沢、山形、新庄の三盆地及び下流域に庄内平野を形成して日本海に注いでいます。



図-1 山形県の概要

### (2) 山形県の気候特性

日本海に面する沿岸部と内陸部に大別され、内陸部は更に最上、村山、置賜の3地域に分けられます。

庄内平野を中心とする海岸部は海洋性気候の特徴を持ち、多雨多湿で冬季には北西の季節風が強く、ふぶくこともあります。

内陸部は一般的に気候が温暖で気温較差が大きいです。新庄市を中心とする最上地域は積雪が多く夏季には大雨となることも多くなっています。

山形市を中心とする村山地域の平野部は一般的に雨、雪とも少ないですが、月山、朝日山系の山間部は全国有数の多雨・多雪地帯となっています。

米沢市を中心とする置賜地方は穏やかな気候ですが、吾妻山山系の山間部は多雪地帯となっています。

## 2. 令和4年8月3日からの大雨による災害

### (1) 気象概況

東北地方に停滞した前線や低気圧に向かって、台風第6号を起源とする暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった影響で、山形県では置賜を中心に積乱雲が発達し、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、3日昼過ぎから4日未明までに、気象庁が記録の短時間大雨情報を6回発表しました。また、3日19時15分に米沢市、長井市、南陽市、高島町、飯豊町、川西町に対して本県では初めてとなる大雨特別警報（浸水害）を、4日02時41分に小国町に対して大雨特別警報（土砂災害・浸水害）を発表しました。

長井では1時間降水量72.5ミリ、3時間降水量115.5ミリ、24時間降水量241.5ミリの観測史上1位の降水量を観測したほか、飯豊町高峰、米沢で3時間降水量、小国や飯豊町高峰、米沢で24時間降水量が観測史上1位となるなど、置賜では記録的な大雨となりました。

この大雨により、最上川上流において河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、飯豊町では橋の崩落により1名が川に流されて現在も行方不明となっているほか、置賜や村山の市町で多くの住家が浸水す



写真-1 小白川・大巻橋（飯豊町）



写真-3 上屋敷橋（米沢市）



写真-2 萩生川（飯豊町）



写真-4 一般国道121号（米沢市）

るなど大きな被害となりました。

8月3日からの大雨により被災した公共土木施設については、10月17日から12月23日に掛け、7回に分け災害査定を実施しました。

この豪雨による県内の公共土木施設被害は、県工事160箇所、市町村工事112箇所、合計272箇所、査定決定額は約125億円となりました。

査定では、被災箇所が過去5年間の年間平均箇所数を超えたことから、机上査定（3千万円以下へ）や保留金額（8億円未満へ）の適用範囲拡大等、簡素化が認められ、査定の効率化、迅速化につながりました。

また、被害の大きかった小白川（飯豊町）、萩生川（飯豊町）および上屋敷橋（米沢市）では改良復旧事業が採択されました。

- ・小白川災害復旧助成事業
- ・萩生川河川等災害関連事業（河川・砂防）
- ・上屋敷橋河川等災害関連事業（橋梁）

### 3. 鶴岡市西目地区の土砂災害

#### (1) 災害の概況

令和4年12月31日未明に山形県鶴岡市西目地区において発生した土砂災害（地すべり）では、斜面直下の建物31棟が倒壊し、2名の尊い命が奪われる被害が発生しました。この災害により市道上京田橋金山線（鶴岡市西目地内）では、約70mにわたって土塊とガレキ等の流出による堆積等が確認されました。

地すべり発生の要因としては、地質が崩壊しやすいものであったことに加え、令和4年11月29日から土砂災害が発生した12月31日までに断続的に記録された長雨や融雪の影響と想定されます。

12月の月間累積降雨は、平年値の約2倍となる月間降雨量541.5mmでした。

この地すべりは、2ブロックあり、規模はAブロックが幅約70m、長さ約75m、最大深度は約20m、Bブロックが幅約145m、長さ約40m、最大深度は約5mとなります。

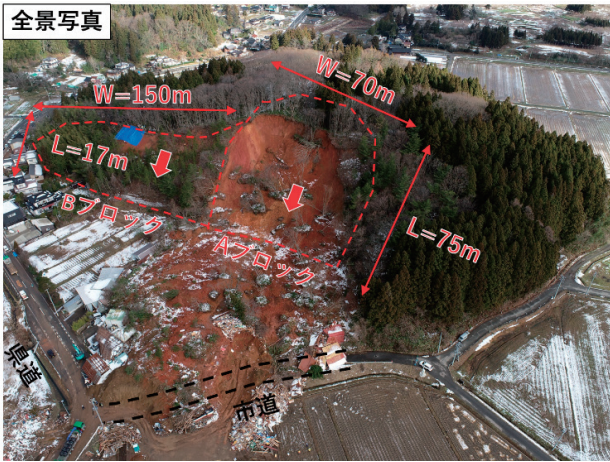


図-2 西目地区地すべり全景

堆積土砂排除事業

国土交通省

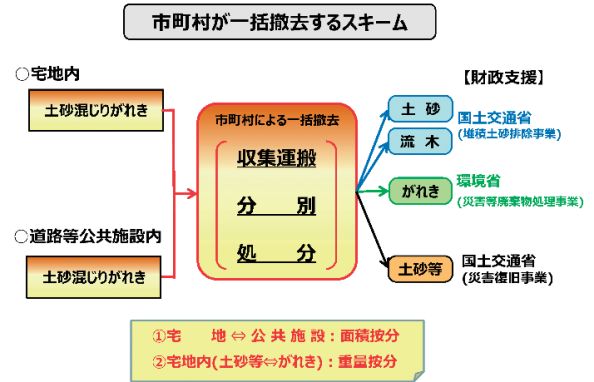


図-4 市町村が一括撤去するスキームイメージ

(2) 災害復旧

県と鶴岡市が連携して対応を進めており、地すべり対策は、県が「災害関連緊急地すべり対策事業」の採択を受け、頭部排土工・法面工、地下水排除工等を実施し、また、鶴岡市では、「公共土木施設災害復旧事業」、「堆積土砂排除事業」、「災害等廃棄物処理事業」の3つの事業で、市道や宅地のガレキ・倒木混じり土砂の撤去を実施しています。

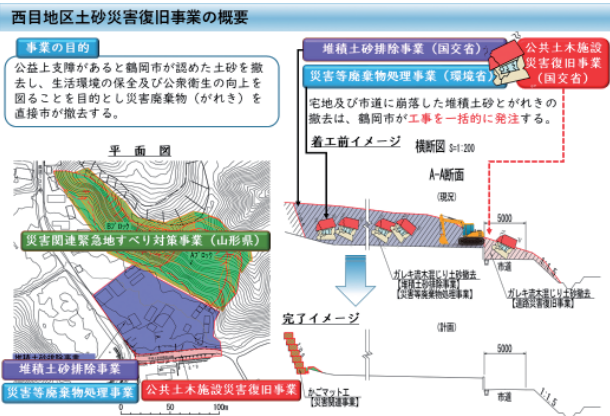


図-3 西目地区災害復旧事業の概要

(3) 災害査定

今回は公共土木施設及び宅地等が一樣に埋没しているとして鶴岡市では、工事を一括発注し、解体、収集・運搬及び処分を行っています。

「堆積土砂排除事業」と「災害等廃棄物処理事業」等の連携スキームでは、災害査定は国土交通省（都市局）、環境省の両査定官により、財務省係官（立会官）が立会の上、原則、一括して現地にて行うものとされていますが、今回の査定では、市道の災害査定のため、さらに国土交通省水管理・国土保全局の査定官と立会官を加えて行いました。



写真-5 連携スキームでの査定状況

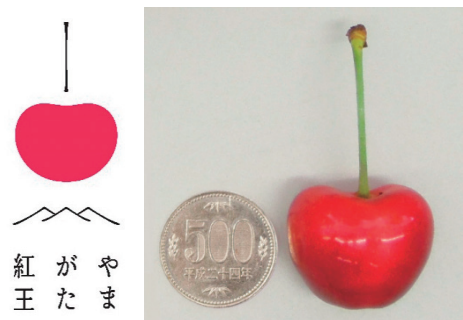
また、災害復旧の申請にあたり、宅地と市道の費用は、連携スキームでは土量の面積按分で計上するものとなっていますが、今回の申請では、市道と宅地で堆積厚にかなりの差異があることから、体積按分で算出することになりました。

4. 山形県の絶品グルメ

(1) さくらんぼ超大玉の新品種「やまがた紅王」

山形県では、令和5年より新品種のさくらんぼ「やまがた紅王」の本格流通を開始しました。

「やまがた紅王」は、世界へ通用するさくらんぼ



を作りたいという思いから20年を超える時間を費やし開発を行いました。「大玉でツヤがあり、さくらんぼの“王様”の風格をイメージしやすい」ことから15,000を超える公募の中から「やまがた紅王」と名づけられました。

#### ○品種の特長

- ・果実の大きさは3L(28mm)中心の大玉で、国内最大級です。
- ・糖度は20度程度で、甘さが際立ちます。
- ・色づきが良く、ツヤがあります。
- ・果肉が硬いため、輸送に強く、日持ちが良いです。

#### (2) ラーメン県そば王国やまがた

消費量日本一のラーメンや県内13箇所ある「そば街道」を観光資源にしようと、山形県では「ラーメン県そば王国」の商標登録を特許庁に申請しました。

#### ○山形県のラーメン

山形県は、村山・最上・置賜・庄内の4つの地域に分かれますが、各々の地域には特徴的なラーメンがあります。

村山地域はまるやかな甘味が特徴の牛骨スープを使ったラーメンのほか、暑い夏場でもひんやり食べられる「冷たいラーメン」。最上地域は思いのほかあっさりして食感が楽しい“とりもつ”をトッピングした「とりもつラーメン」。置賜地域は鶏ガラスープに細い手揉み縮れ麺が特徴の「米沢ラーメン」

や、味噌ベースのスープに中太縮れ麺で唐辛子の入った辛味噌がのった「赤湯ラーメン」。庄内地域は魚介系スープに自家製麺を合わせた「酒田のラーメン」。

他にも、そば店が提供するラーメンや馬肉ラーメンなど、さまざまな種類のラーメンが楽しめます。その中でも特徴的なラーメンをご紹介します。ぜひ自分のお気に入りの一杯を見つけてみてください。

#### ○山形県のそば

山形県はそば処として全国的にも知られ、地元はもちろん県外のそばファンから支持を得ています。老舗や名店が数多く存在しており、昔ながらの素朴な店構えや職人気質の主人による、伝統に培われた「打ち方」「茹で方」「つゆ」、素材へのこだわりなど、豊かで個性あふれた美味しさがあります。

杉の板で作った浅い箱に蕎麦を盛り付けることから名づけられた「板そば」、歯ごたえのある親鶏とネギがメインの具で、鶏骨だしの冷たいつゆがかかっている「冷たい肉そば」、出盛りの山菜やきのこがたっぷりに入った鉄鍋の中に、茹で上がったそばを入れながら食べる「月山山菜そば」など、山形ならではのそば文化があり、県内各地の「そば街道」において、様々な食べ方を楽しむことができます。(「やまがたへの旅」山形県公式観光サイトより引用

<https://yamagatakanko.com/>)

